

資 料 編

猪苗代町障がい者アンケート調査結果

障がい者計画・障がい福祉計画・障がい児
福祉計画策定経過

猪苗代町障がい者自立支援協議会委員名簿

令和2年度

猪苗代町障がい者アンケート調査結果

猪 苗 代 町

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の概要	1
(1)	調査対象	1
(2)	調査期間	1
(3)	調査方法	1
(4)	回収状況	1
3	報告書のみかた	1
II	調査結果	2
※	回答者の属性	2
1	日中の過ごし方などについて	6
2	仕事について	9
3	保健・医療について	12
4	生活環境・安心できるまちづくりについて	13
5	サービス利用などについて	16
◇	自由意見	25

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、第2期猪苗代町障がい福祉計画（前期）・第1期猪苗代町障がい児福祉計画（前期）を見直し、令和3年度から令和5年度までの第2期猪苗代町障がい福祉計画（後期）・第1期猪苗代町障がい児福祉計画（後期）を策定するにあたって、基礎資料として活用することを目的に実施するものです。

2 調査の概要

（1）調査対象

猪苗代町内に居住する、障がい者手帳（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳）所持者985人

（2）調査期間

調査時期：令和2年9月23日～10月16日まで

（3）調査方法

郵送による配付・回収

（4）回収状況

配付数	回収数	回収率
985	685	69.5%

3 報告書のみかた

- ・集計結果は原則として百分率（％）で表すこととし、小数点第2位を四捨五入し第1位までの表記としています。このため、百分率の合計が100にならない場合があります。
- ・母数は、回答者全員が答えるべき設問については有効回答総数、条件付き設問についてはその設問に答えるべき該当者の数とし、それぞれ「n」で表記します。
- ・複数回答を不可とした設問について選択肢を複数選択した場合、「無回答」として処理します。
- ・設問や選択肢が長文の場合、グラフの凡例や文章中で、一部省略して表記する場合があります。

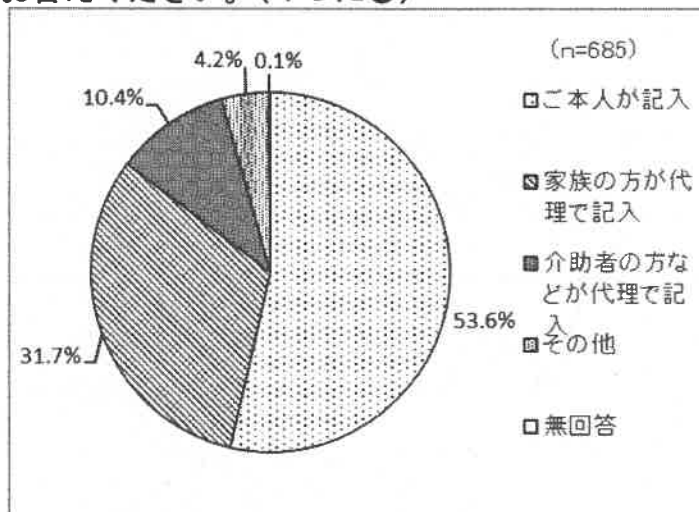
Ⅱ 調査結果

※ 回答者の属性

問1 この調査票にご回答いただく方をお答えください。(1つに○)

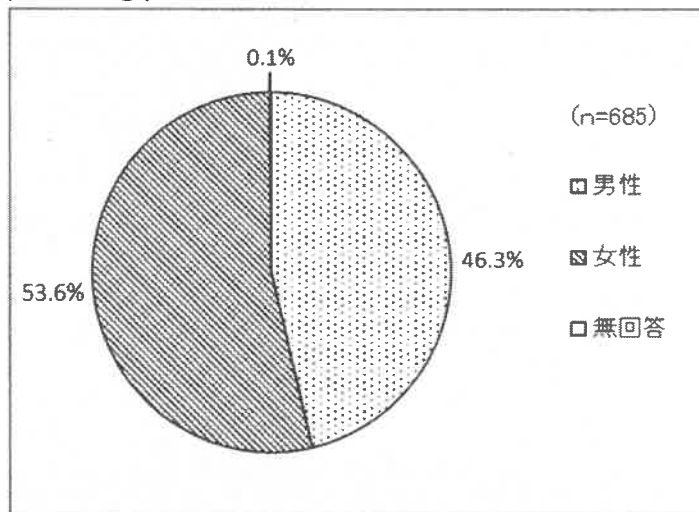
回答者は、「ご本人が記入」が53.6%と最も多く、次いで「家族の方が代理で記入」が31.7%、「介助者の方などが代理で記入」が10.4%となっています。

「その他」(3.9%)は“施設職員”の回答が多くみられます。



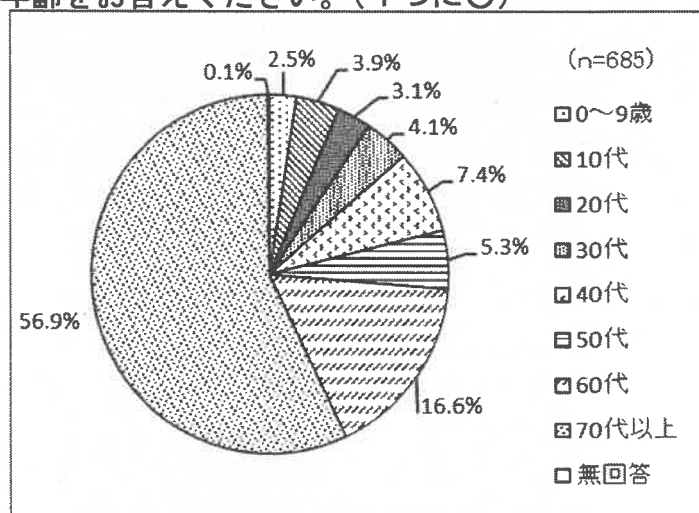
問2 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

回答者の性別は、「男性」が46.34%、「女性」が53.61%と、女性の回答比率が高くなっています。



問3 令和2年9月1日現在のあなたの年齢をお答えください。(1つに○)

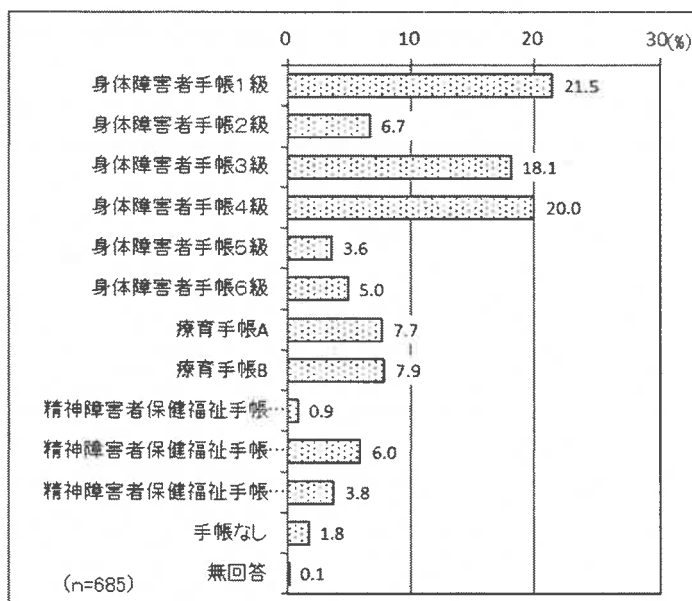
回答者の年齢は、「70代以上」が56.9%と半数以上を占めています。以下「60代」16.6%、「50代」5.3%と続いており、年齢が高い人の回答が多い結果となっています。



問4 あなたは次の手帳をお持ちですか。お持ちの手帳の種類と等級をお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

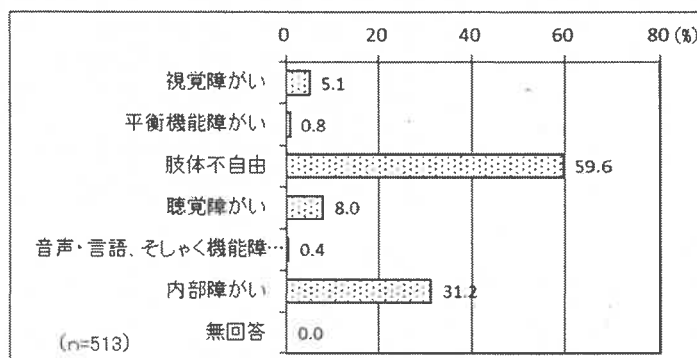
等級別の手帳の所有状況は、「身体障害者手帳1級」が21.5%で最も多く、「身体障害者手帳4級」が20.2%、「身体障害者手帳3級」が18.1%と続いています。

手帳種別にみると身体障害者手帳所有者は全体の74.9%、療育手帳所有者は15.6%、精神障害者保健福祉手帳所有者は10.7%となっています。



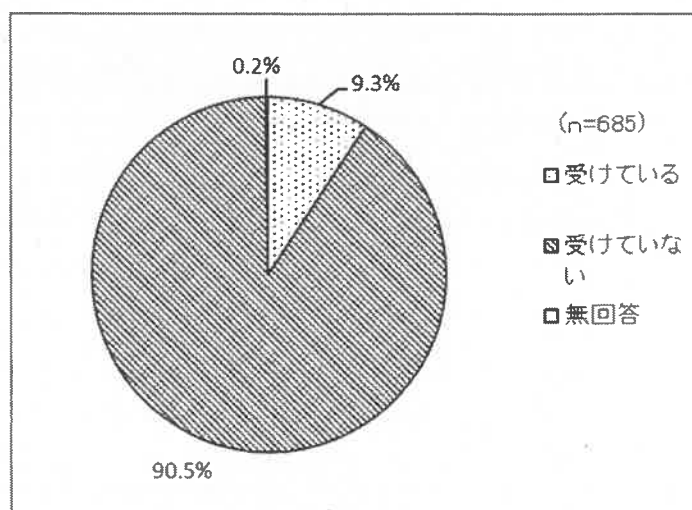
問5 身体障害者手帳をお持ちの方にうかがいます。障がいの種類をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

身体障がい者の障がいの種類は、「肢体不自由」が59.6%と最も多く、「内部障がい」が31.2%、「聴覚障がい」が8.0%、「視覚障がい」が5.1%となっています。



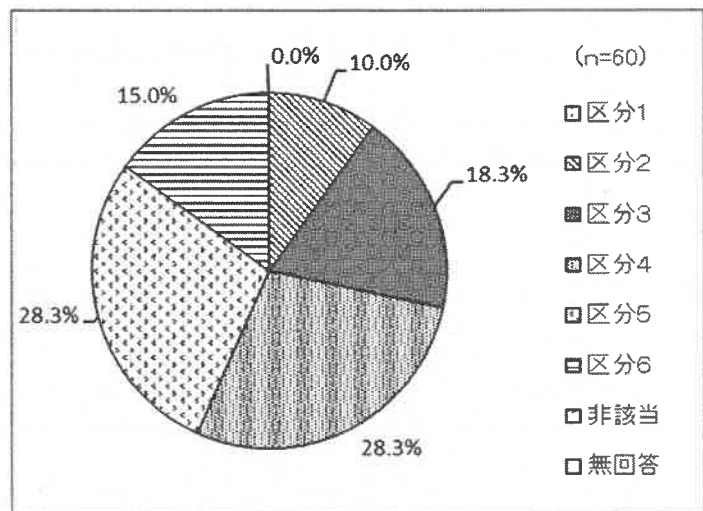
問6 18歳以上の方にうかがいます。障害者総合支援法に基づく、障害支援区分の認定を受けていますか。(1つに○)

障害認定区分を受けている方は、回答者全体(685人)の9.3%(60人)となっています。



認定を受けている方にうかがいます。区分をお答えください。(1つに○)

認定者の認定区分は、「区分 4」及び「区分5」が28.3%と最も多く、以下「区分 3」18.3%、「区分 6」15.0%、「区分 2」10.0%と続きます。区分1はありませんでした。

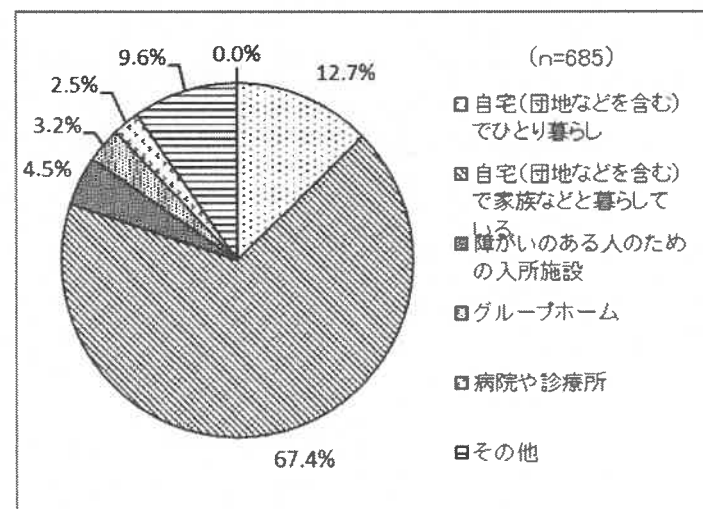


問7 あなたは現在どこで暮らしていますか。(1つに○)

居宅の種類は、「自宅（団地などを含む）で家族などと暮らしている」が67.4%と最も多く、「自宅（団地などを含む）でひとり暮らし」の12.7%と合すると、全体の8割が“自宅”となっています。

以下、「障がいのある人のための入所施設」4.5%、「グループホーム」3.2%と続いています。

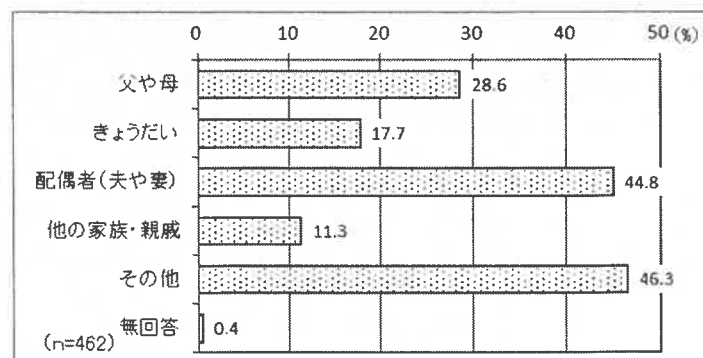
「その他」(9.6%)は“特養”の回答が多数を占めています。



問8 自宅で家族などと暮らしている方にうかがいます。どなたと一緒に暮らしていますか。(あてはまるものすべてに○)

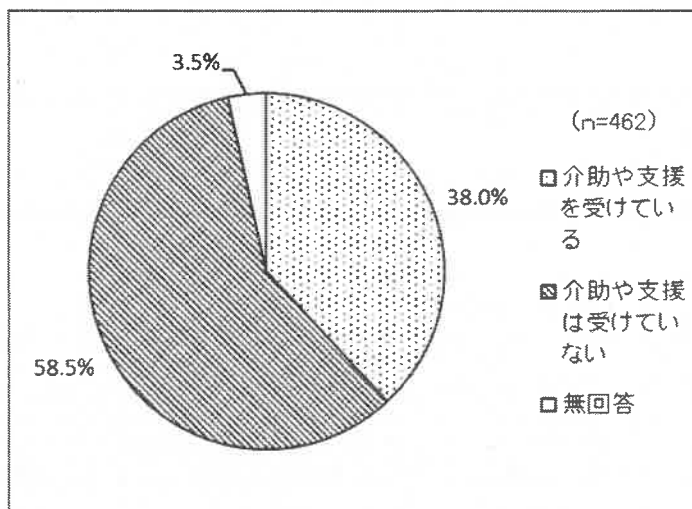
同居している家族は、「配偶者（夫や妻）」が44.8%と最も多く、次いで「父や母」が28.6%、「きょうだい」17.7%、「他の家族・親戚」11.3%、となっています。

なお、「その他」(46.3%)は“子ども”“子ども夫婦”、“祖父母”などの回答が多くなっています。



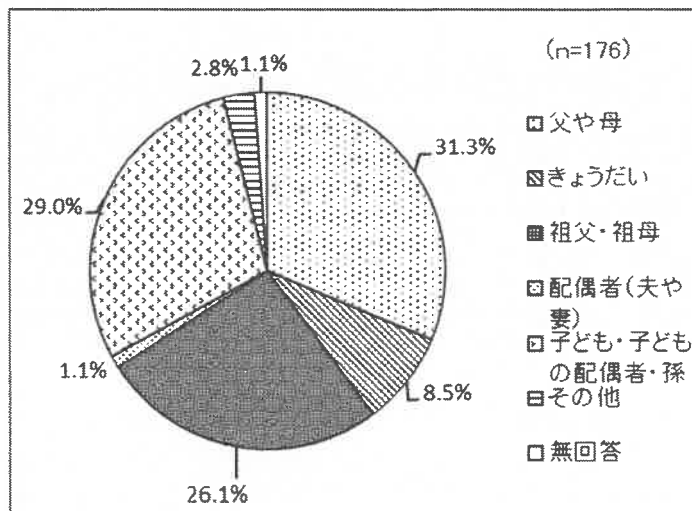
問9 あなたは現在、家族や親戚などに介助や支援をしてもらっていますか。(1つに○)

家族・親戚からの介助や支援については、「介助や支援を受けている」が38.0%、「介助や支援は受けていない」が58.5%となっています。



問10 家族などに介助や支援をしてもらっている方にうかがいます。主に介助や支援をしている方は、あなたからみてどなたですか。(1つに○)

介助・支援をしてくれる人は、「父や母」が31.3%と最も多く、「子ども・子どもの配偶者・孫」が29.0%、「きょうだい」が8.5%、「配偶者(夫や妻)」が1.1%、となっています。

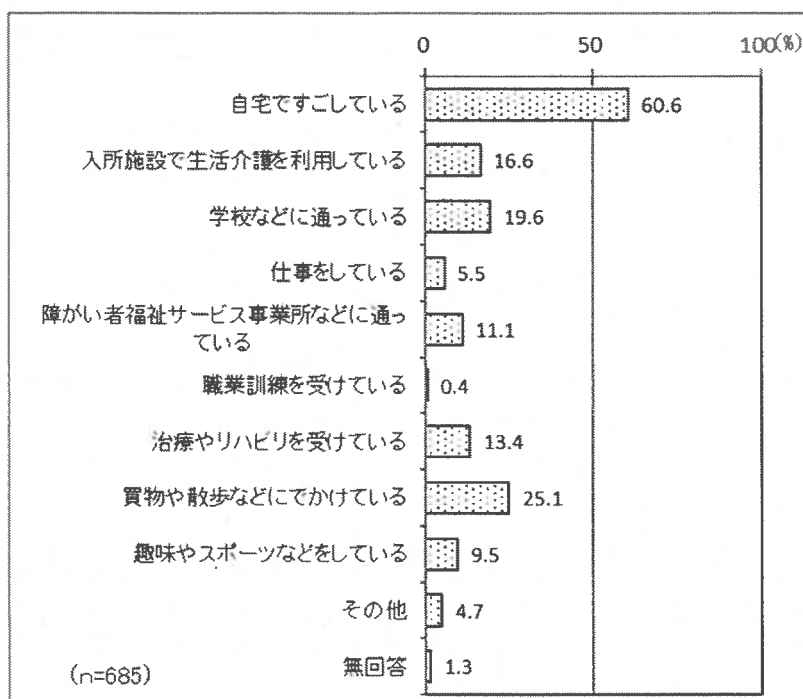


1 日中の過ごし方などについて

問 11 あなたは、昼間主にどのようにすごしていますか。(3つまで○)

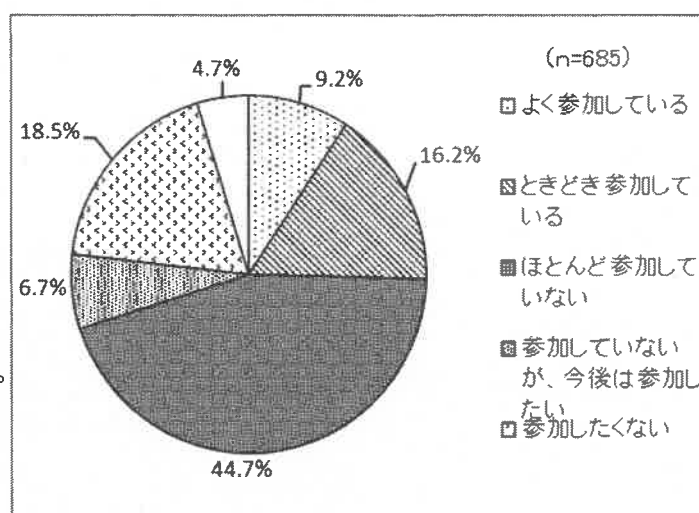
昼間の主な過ごし方は、「自宅ですごしている」が60.6%と最も多く、「買物や散歩などにでかけている」が25.1%、「学校などに通っている」が19.6%などとなっています。

「その他」(4.7%)は「デイサービス」「家事」「畑仕事」などの回答が多くなっています。



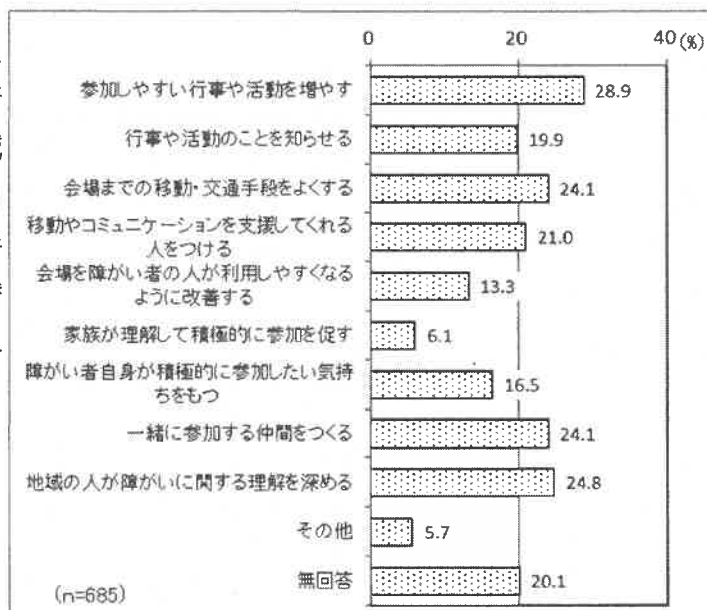
問 12 あなたは自治会（町内会）の活動やお祭り、運動会など、地域の行事に参加していますか。(1つに○)

地域の行事への参加状況は、「ほとんど参加していない」が44.7%と最も多く、以下「参加したくない」が18.5%、「ときどき参加している」が16.2%、「よく参加している」が9.2%、「参加していないが、今後は参加したい」が6.7%となっています。



問 13 あなたは、障がいのある人が地域活動などに参加しやすくするために、どのようなことが大切だと思いますか。(3つまで○)

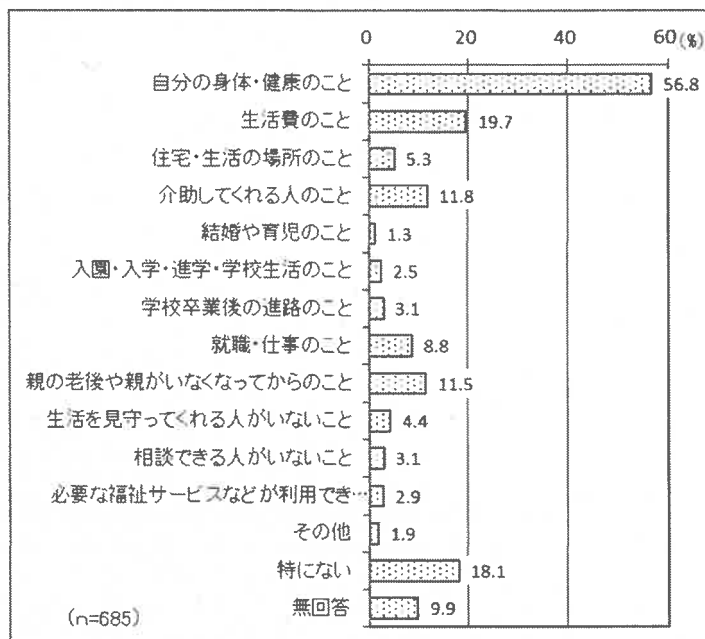
障がい者が地域活動に参加するために大切なことは、「参加しやすい行事や活動を増やす」(28.9%)や「地域の人が障がいに関する理解を深める」(24.8%)、「会場までの移動・交通手段をよくする」(24.1%)、「一緒に参加する仲間をるくる」(24.1%)が上位となっています。



問 14 あなたは、現在の生活で困っていることや不安に思っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

困っていることや不安に思っていることは、「自分の身体・健康のこと」が56.8%と最も多く、以下「生活費のこと」(19.7%)、「介助してくれる人のこと」(11.8%)、「親の老後や親がいなくなること」(11.5%)と続きます。

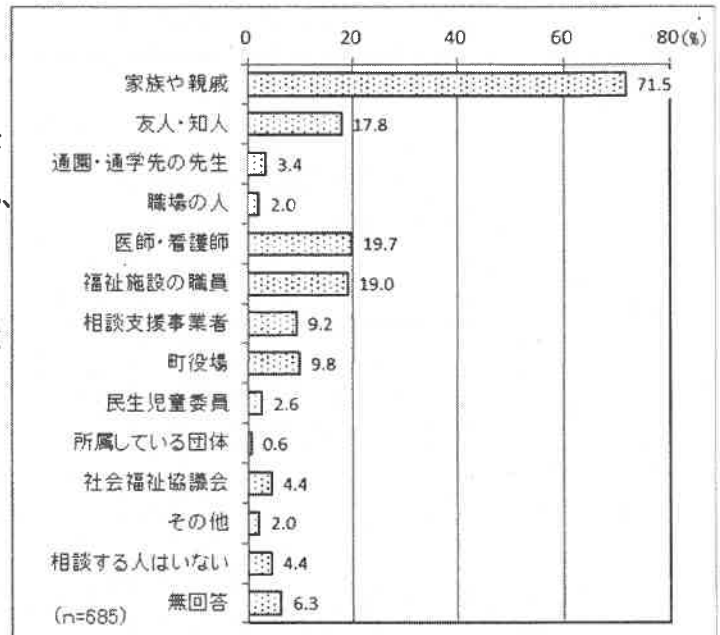
なお、「特にない」は18.1%となっています。



問 15 あなたは、心配ごとや悩みがあった場合、だれに相談しますか。
(あてはまるものすべてに○)

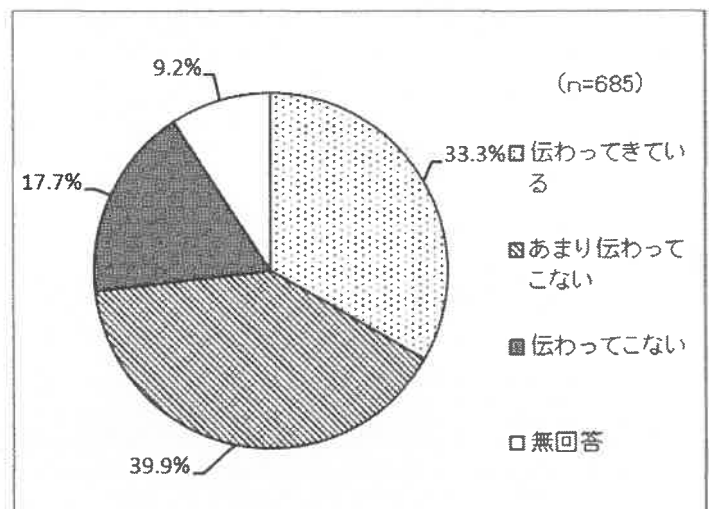
心配ごとや悩みの相談相手として、「家族や親戚」は71.5%と多数を占めています。以下「医師・看護師」が19.7%、「福祉施設の職員」が19.0%、「友人・知人」が17.8%となっています。

なお、「相談する人はいない」は4.4%となっています。



問 16 あなたに、福祉サービスなどに関する情報は十分に伝わってきていますか。
(1つに○)

情報の伝達については、「あまり伝わってこない」が39.9%で最も多く、「伝わってきている」が33.3%、「伝わってこない」が17.7%となっています。



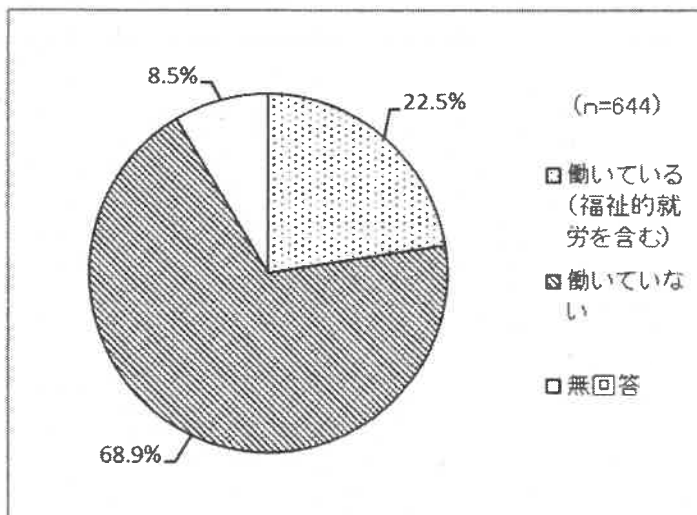
2 仕事について

★宛名の「あなた」が、18歳未満の場合は問22に進んでください。

問17 あなたは、現在働いていますか。

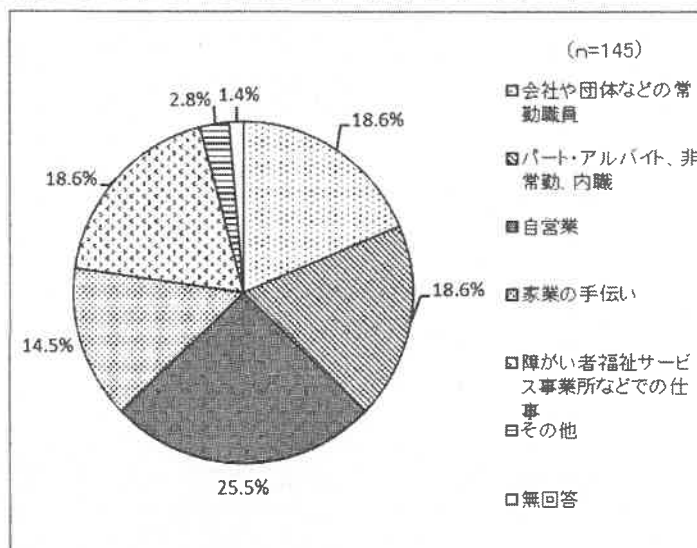
(1つに○)

現在「働いている(福祉的就労を含む)」は22.5%(145人)となっています。



問18 働いている方にうかがいます。どのような仕事をされていますか。(1つに○)

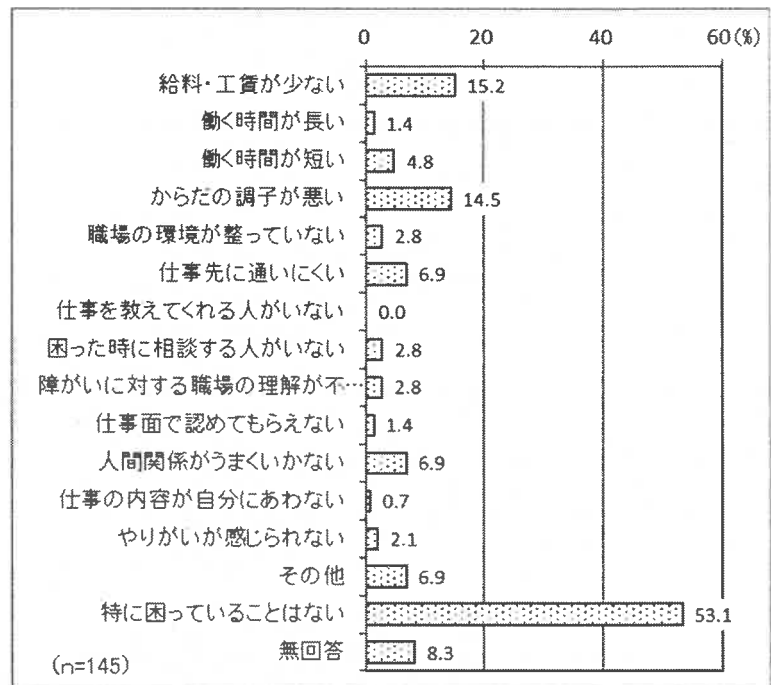
仕事は、「自営業」が25.5%、次いで「会社や団体などの常勤職員」及び「パート・アルバイト、非常勤、内職」が18.6%、「障がい者福祉サービス事業所などでの仕事」が18.6%、「家業の手伝い」が14.5%となっています。



問 19 働いている方にうかがいます。仕事で不安なことや困ることがありますか。
(4つまで○)

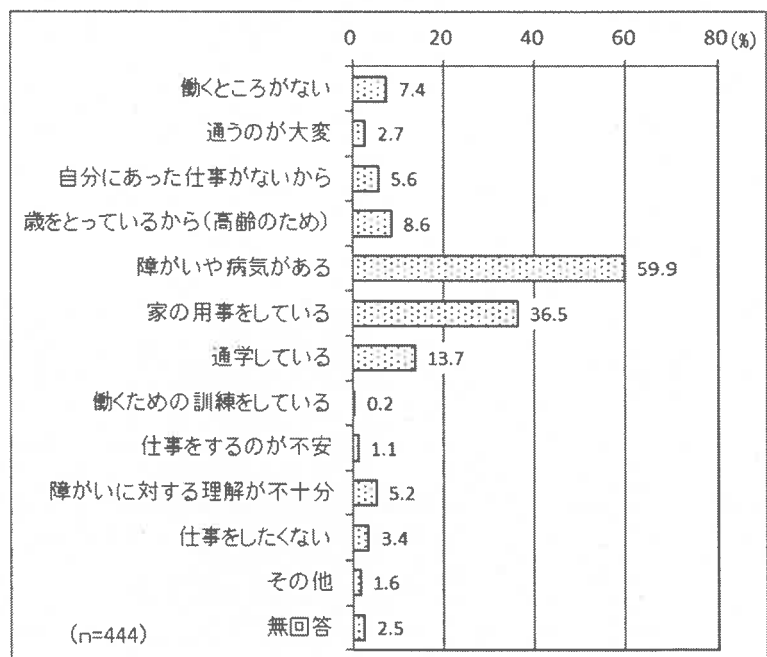
仕事での不安や困りごとについて「特に困っていることはない」が53.1%と半数を占めています。

不安・困りごとの内容では、「給料・工賃が少ない」が15.2%、「からだの調子が悪い」が14.5%などの比率が高くなっています。



問 20 働いていない方にうかがいます。働いていない主な理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

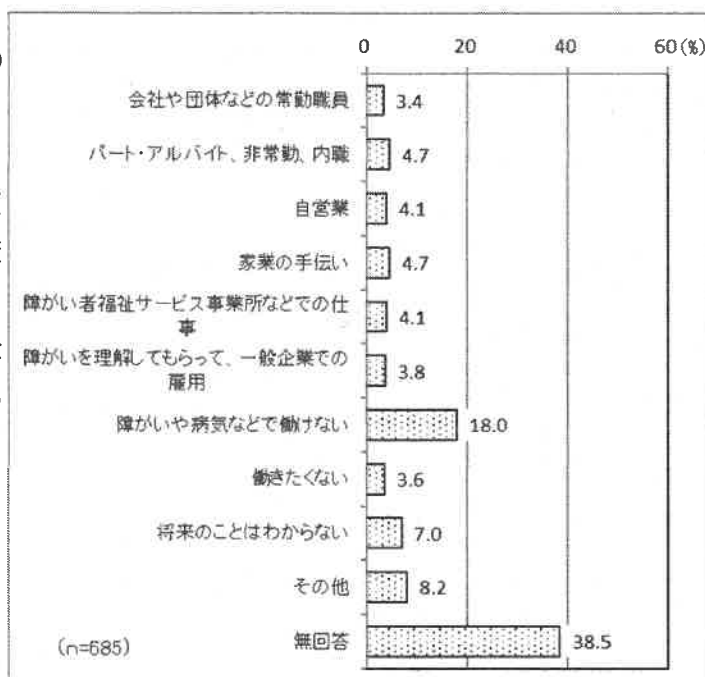
働いていない理由は、「障がいや病気がある」が59.9%と最も多く、次いで「家の用事をしている」36.5%となっています。



問 21 あなたは、今後どのような形で働きたいですか。働いている方は望ましいと思う働き方を、働いていない方はお考えをお答えください。（1つに○）

今後の希望する働き方は、「家業の手伝い」及び「パート・アルバイト、非常勤、内職」が 4.7%、「自営業」及び「障がい福祉サービス事業所などでの仕事」が 4.1%などとなっています。

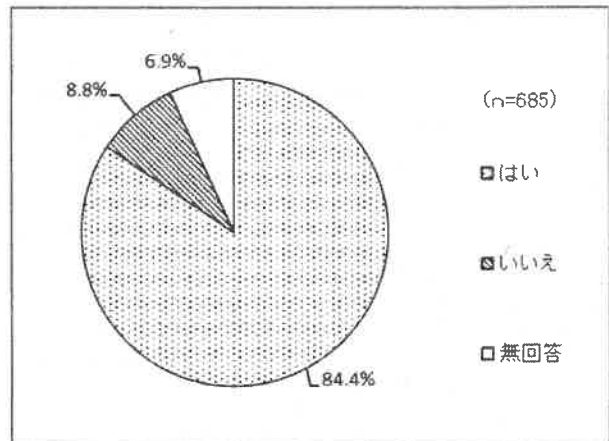
なお「障がいや病気などで働けない」が 18.0%、「将来のことはわからない」が 7.0%となっています。



3 保健・医療について

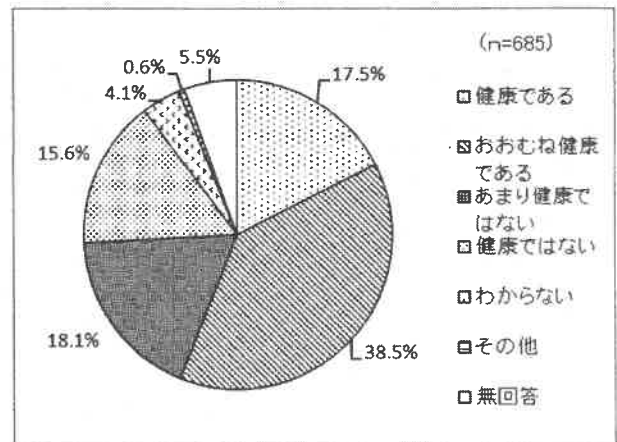
問 22 あなたは、定期的に病院や診療所に通っていますか。(1つに○)

病院や診療所への定期的な通院は、「はい」が84.4%、「いいえ」が8.8%となっています。



問 23 あなたは、現在のご自身の健康状態をどのように思いますか。(1つに○)

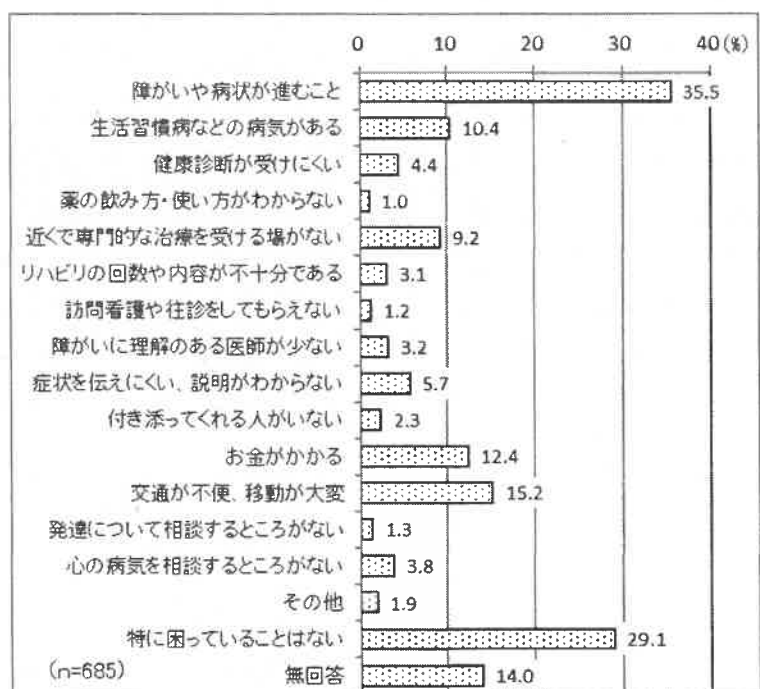
健康状態は、「おおむね健康である」が38.5%と最も多く、次いで「あまり健康ではない」が18.1%、「健康である」が17.5%、「健康ではない」が15.6%となっています。



問 24 あなたは、保健・医療面で困っていることや不安なことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

保健・医療面での困りごと・不安は、「障がいや病状が進むこと」が35.5%で最も多く、次いで「交通が不便、移動が大変」が15.2%、「お金がかかる」が12.4%などとなっています。

なお、「特に困っていることはない」が29.1%となっています。

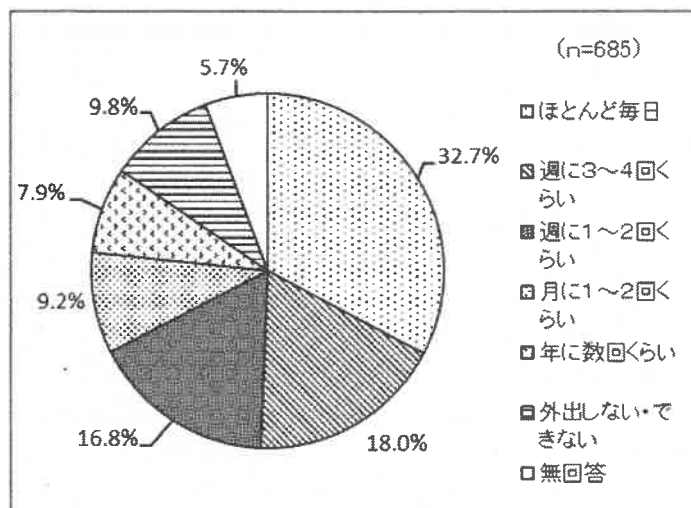


4 生活環境・安心できるまちづくりについて

問 25 あなたの外出の回数はどれくらいですか。(障がい福祉サービス・通学・通勤・その他散歩や買物も外出とします。)(1つに○)

外出の頻度は、「ほとんど毎日」が32.7%と最も多く、以下「週に3～4回くらい」が18.0%、「週に1～2回くらい」が16.8%、「月に1～2回くらい」が9.2%となっています。

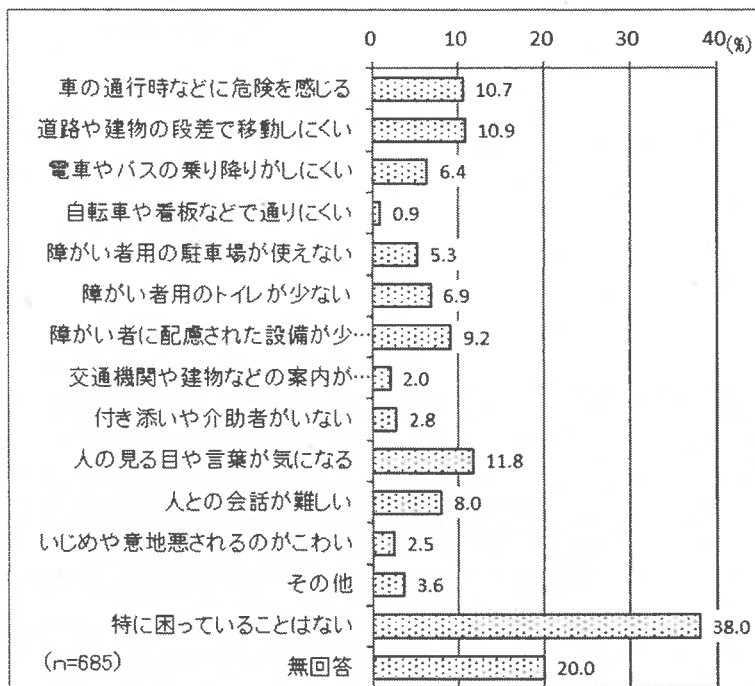
なお、「外出しない・できない」が9.8%となっています。



問 26 あなたは、外出先で困ることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

外出先での困りごとは、「人の見る目や言葉が気になる」が11.8%と最も多く、以下「道路や建物の段差で移動しにくい」が10.9%、「車の通行時などに危険を感じる」が10.7%、「障がい者に配慮された設備が少ない」が9.2%、「人との会話が難しい」8.0%などとなっています。

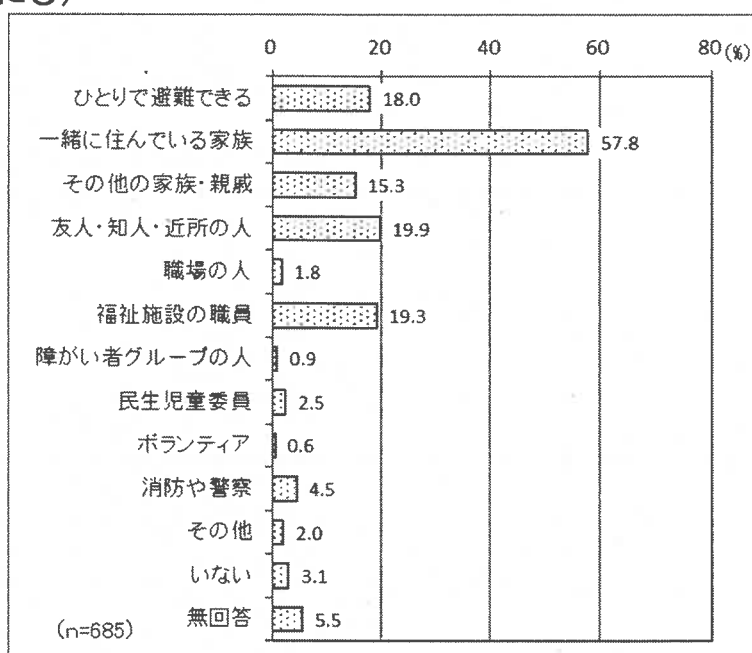
なお、「特に困っていることはない」が38.0%となっています。



問 27 あなたは、火事や地震などの災害が発生して避難する場合に、頼りにできる人がいますか。(あてはまるものすべてに○)

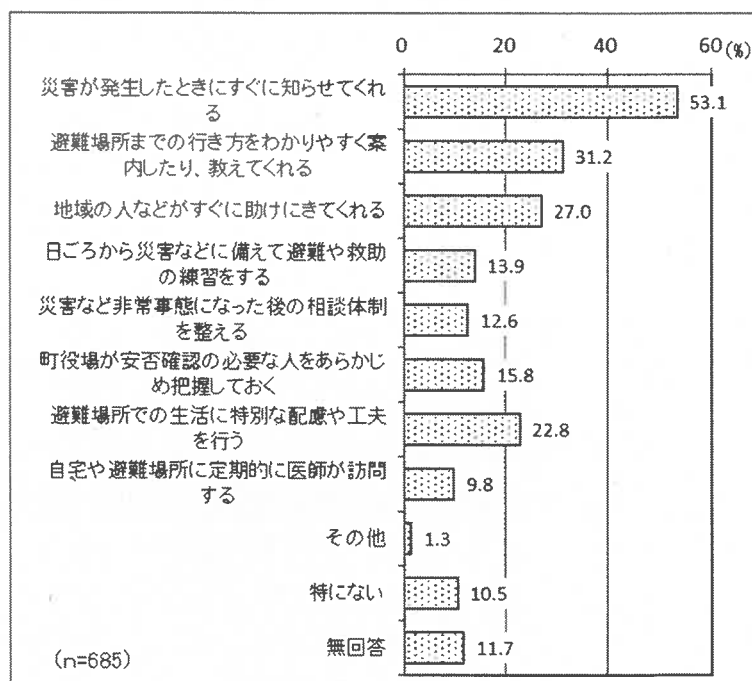
災害発生時に頼りに出来る人は、「一緒に住んでいる家族」が57.8%と多数を占めており、以下「友人・知人・近所の人」(19.9%)、「福祉施設の職員」(19.3%)、「その他の家族・親戚」(15.3%)と続いています。

一方、「ひとりで避難できる」が18.0%、「いない」が3.1%となっています。



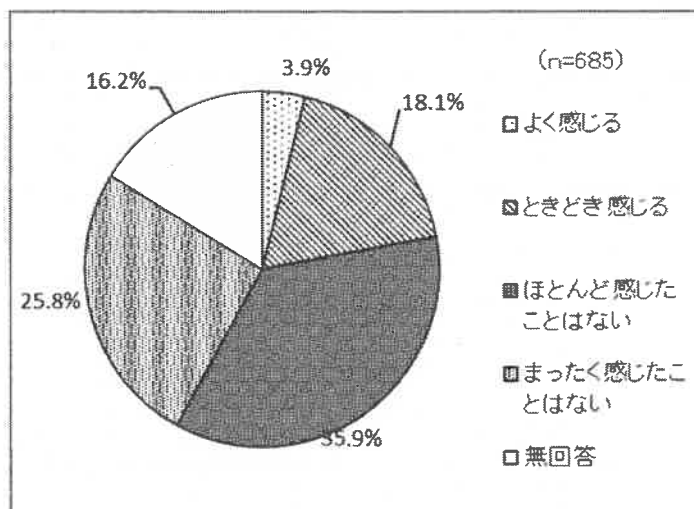
問 28 あなたは、火事や地震など緊急時の対応について、障がいのある人の立場からどのようなことが重要だと思いますか。(3つまで○)

災害発生時の対応で重要なことは、「災害が発生したときにすぐに知らせてくれる」が53.1%と最も多く、以下「避難場所までの行き方をわかりやすく案内したり、教えてくれる」が31.2%、「地域の人などがすぐに助けにきてくれる」が27.0%などとなっています。



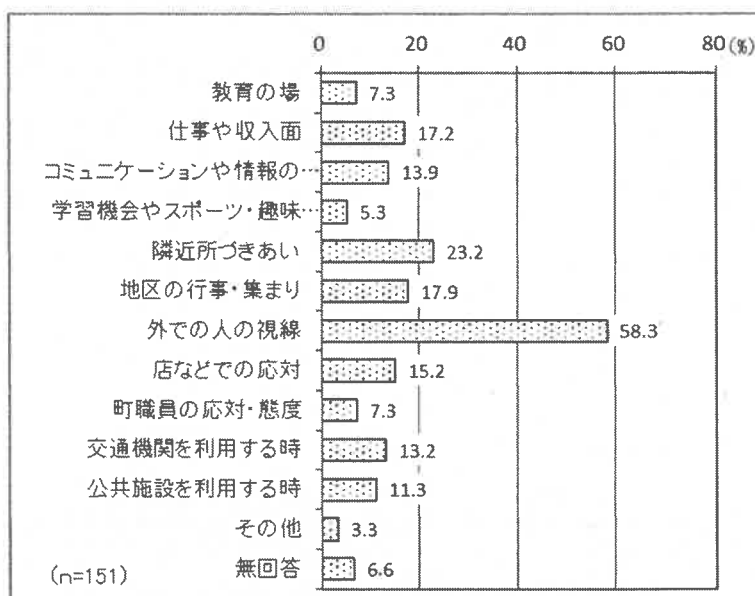
問 29 あなたは、日常生活の中で差別や偏見、疎外感を感じることがありますか。(1
つに○)

差別・偏見、疎外感については、「ほとんど感じたことはない」が35.9%と最も多く、「まったく感じたことはない」が25.8%、「ときどき感じる」が18.1%、「よく感じる」が3.9%となっています。



問 30 感じるがあると答えた方にうかがいます。具体的にどのような場面で差別や偏見、疎外感を感じられましたか。(あてはまるものすべてに○)

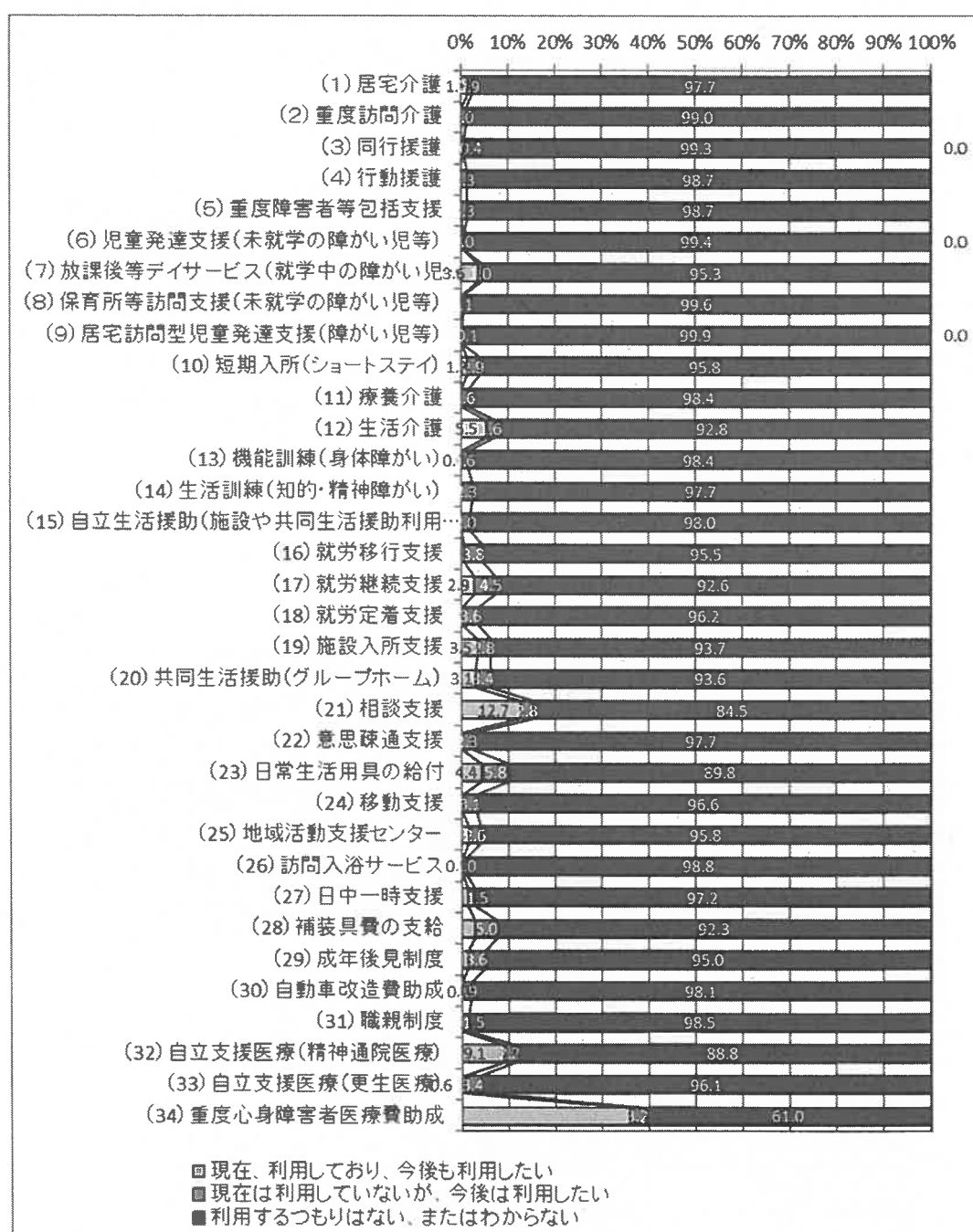
差別や偏見等を受けた場面は、「外での人の視線」が58.3%と最も多く、以下「隣近所づきあい」が23.2%、「地区の行事・集まり」が17.9%、「仕事や収入面」が17.2%、「店などでの対応」が15.2%、「コミュニケーションや情報の収集」が13.9%、「交通機関を利用する時」13.2%などとなっています。



5 サービス利用などについて

問 31 あなたは以下のサービスを利用していますか。(障がいの種類・程度により利用できないサービスもあります。(1)～(35)それぞれ該当する番号に○を記入してください)

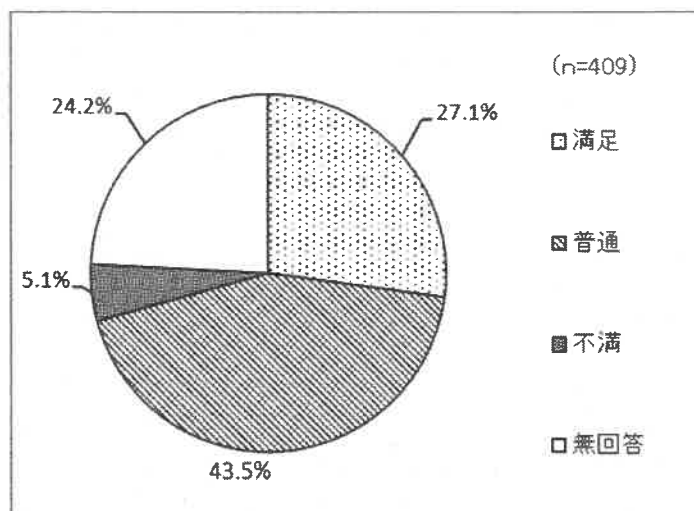
「現在、利用しており、今後も利用したい」の割合が高いのは、『重度心身障害者医療費助成』(35.8%)や『相談支援』(12.7%)、『自立支援医療(精神通院医療)』(9.1%)などとなっています。また、「現在は利用していないが、今後は利用したい」の割合が高いサービスは、『日常生活用具の給付』(5.8%)や『補装具費の支給』(5.0%)、『就労継続支援』(4.5%)などとなっています。



問 32 問 31 にあげられている各種サービスのいずれかを現在利用している方にうかがいます。あなたは、現在利用しているサービスに満足していますか。（1つに○、不満の場合は具体的な理由を記入してください。）

サービスへの満足度は、「満足」が27.1%、「普通」が43.5%、「不満」は5.1%（21人）となっています。

不満の理由については、次頁のとおりとなっています。



◇不満の理由

サービスの種類	不満の理由
施設入所支援	施設に入所して極端にやせてしまって、とても心配しているが、家で見守る事もできないので、お互いガマンしている。
日常生活用具の給付	日常生活用具の公費対象用品を増やしてほしい
	給付申請を1回／半年実施しているが、せめて2年に1回に出来ないか。
自動車改造費	他市町村で実施している自動車改造費助成をしてほしい
重度心身障害者医療費助成	重度心身障害者医療費給付金が病院の支払い時に差し引かれてできれば手続きの簡素化ができるのではないのでしょうか？
	毎月病院の支払いが大変です。
	重度心身障害者医療費助成事業について、申請後翌月には支払ってほしい（現在は3か月後）
その他	全てにおいてサービスが使えない。
	利用したいときにサービスが利用できない
	乗合タクシーなどスーパーなどにも利用してもらいたい。
	有効期限が短い、期限がバラバラ
	乗合タクシーなどスーパーなどにも利用してもらいたい。
	役場のサービスについては分かりずらく、現在は病院に入院のため病院にお願いしている。（猪苗代町にはいない。）※相談するところもわからない。
	新型コロナウイルス感染予防のため、サービスの利用ができない
	新型コロナウイルス感染予防のため、サービスの利用が制限されている
	回復の兆しがない
	免許を返納してしまったので外出に困っている。外出するにもお金がかかる。

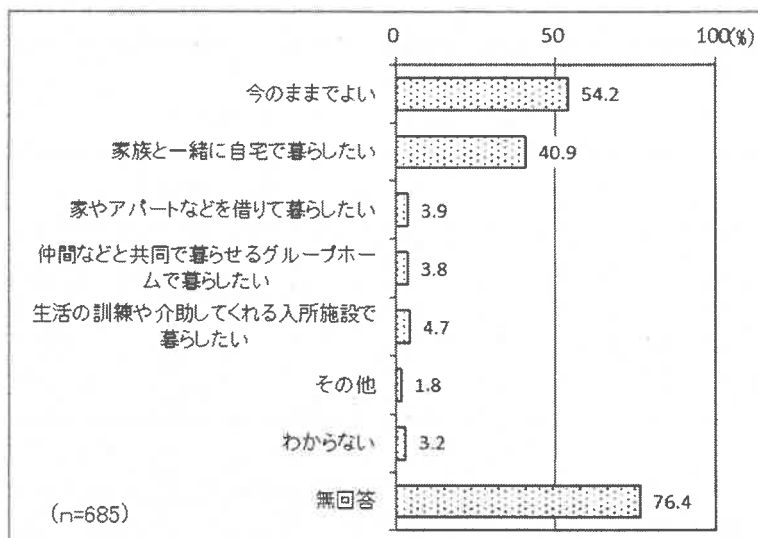
※21名中4名は無回答

問 33 今後、あなたはどこで暮らしていきたいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

今後の居宅暮らしの希望は、「今のままでよい」が54.2%と最も多く、次いで「家族と一緒に自宅で暮らしたい」が40.9%となっています。

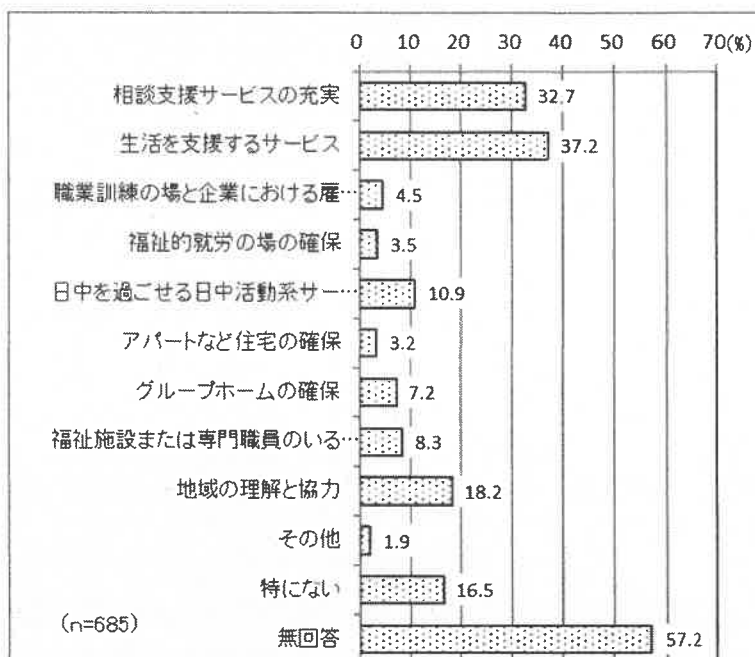
これ以外の回答は、いずれも5%未満となっています。



問 34 あなたは、在宅での生活を続けるため、あるいは施設や病院から在宅生活へ移行するためには、どのような条件が必要だと思いますか。(3つまで○)

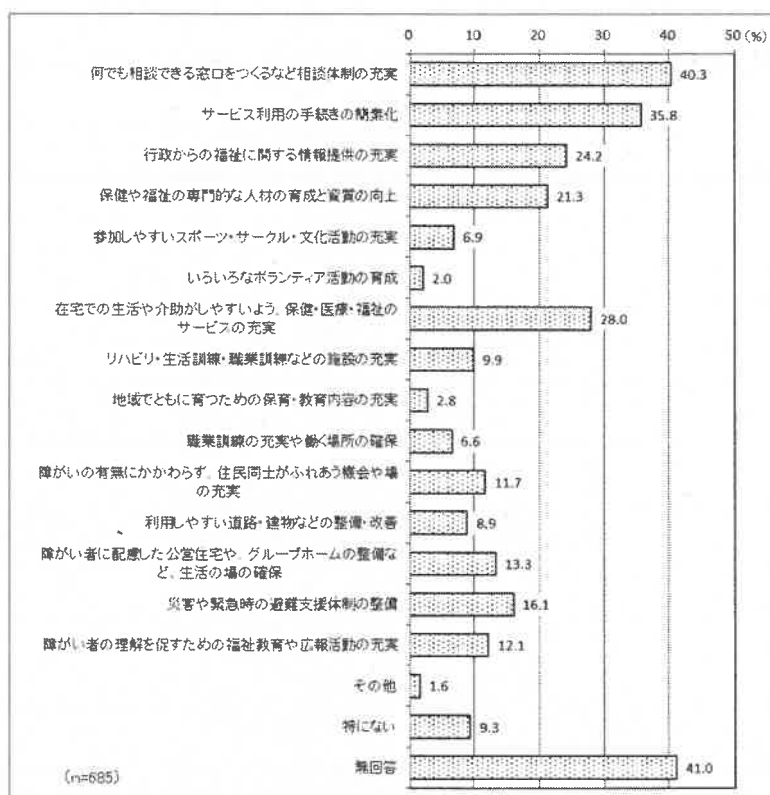
在宅生活の継続や、地域での生活への移行に必要な条件は、「生活を支援するサービス」が37.2%と最も多く、次いで「相談支援サービスの充実」が32.7%、「地域の理解と協力」が18.2%となっています。

なお、「特にない」は16.5%となっています。



問 35 あなたにとって住みよいまちをつくるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(5つまで○)

障がい者にとって住みやすいまちに必要なことは、「何でも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実」が40.3%と最も多く、以下「サービス利用の手続きの簡素化」(35.8%)、「在宅での生活や介助がしやすいよう、保健・医療・福祉のサービスの充実」(28.0%)、「行政からの福祉に関する情報提供の充実」(24.2%)と続いています。



問 36 今後、「このようなサービスがあるといいな」と思うサービスはありますか。サービスの内容を考えられる範囲で、ご自由にお書きください。

サービスの内容	人数	記述内容
移動・送迎支援 公共交通の充実 交通体制の整備 など	17	日常生活をするための足の確保 ※長い期間すべてタクシーを利用する事は容易ではない。
		支援学校の生徒が利用できるスクールバス
		通学・通院・通勤等で利用できる介護タクシーの確保やその財政支援
		福祉タクシー（行きたいときに行きたい場所へ連れて行ってくれるサービス 通院・買い物など）
		交通が不便、移動が大変な一人暮らしの人のために、お買い物タクシーかバスなどのサービスがあればと思う。
		学校卒業後、就労先や事業所までの送迎の補助サービスがあれば、親も今の仕事を継続できるが現状は厳しい。生活介護やB型事業所、日中一時支援の時間等仕事をしながら親の負担が大きい
		自宅付近に送迎サービスをしてくれる生活介護事業所があればいいなと感じました。
		病院に行く時に送迎や付き添いをしてくれるサービス
		就労施設までの送迎サービス
		通院や買い物に行くのいつもタクシーを利用しています。町からタクシー券等をいただければ助かります。
		移動支援としてタクシー券の配布など
		外出支援としてタクシー券や定額のサービス利用権等が発行され、例えば年間パスポートのような物を1万円位で販売してもらったら、外出がしやすくなるし、家族の負担も少なくなるのでは？
		運転ができないので、気軽に外出できる制度。タクシーを利用しているが少し融通が利かないので、年間のパスポートを低額で利用できるような制度などをお願いしたい。高齢者の足になってもらいたい
		町内での買い物をするための交通手段があるといいです。乗合タクシーは時間帯やお金が高くて利用しづらいです。
障がい福祉サービス事業所	2	病院通院にはデマンドタクシーを利用させて頂いておりますが午前2回ありますが、7：30分を8：00にして貰えたら有難いです。
		障がい者が自立し生活ができるよう買い物や仕事に行けるよう交通手段の充実。
日中サービス	1	高齢化に伴う免許の返納を考慮しワンコインタクシーの充実を検討して欲しいですね。
		町内に買い物に行く時の交通方法があると助かる。
障がい福祉サービス事業所	2	就労B型事業所を町で立ち上げてほしい。
		児童発達支援の施設を町内に増やしていくと町外の施設までの移動負担が軽減されるのではないかな。
日中サービス	1	（猪苗代町内に）重度障害者が日中過ごせるサービスがあるといいですね

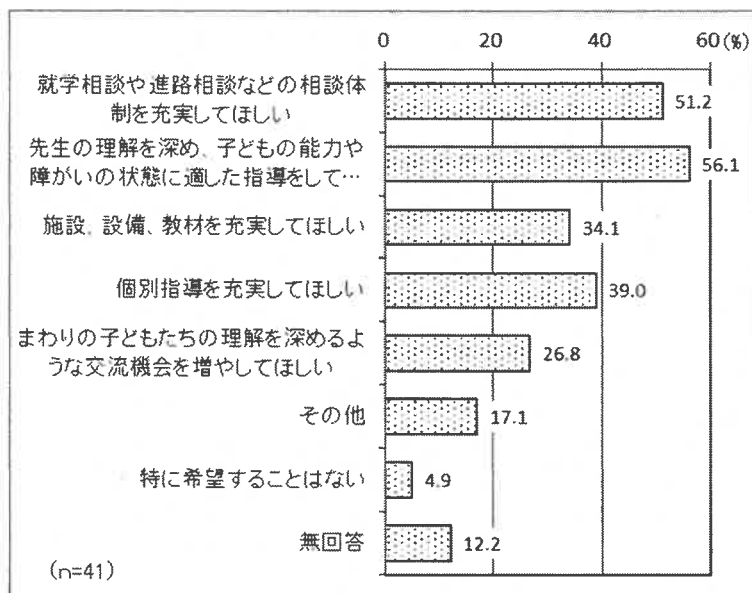
施設入所	1	自身、身体障がい者1級で在宅酸素を使用しているため、心身ともにつらい状態であり、夫（要介護3）の介護が大変で、早急の施設入所をお願いしたい。
相談支援	4	軽度の障害であっても困る事、悩みはあるわけなので保健師さんがその状態を聞き取りに来て欲しい。それが悩み不安の軽減につながるかとも思います。病気、障害は医療機関にお世話になっていますが傾聴してもらうことで前向きになれるかな…？と思います！ぜひたくですかね…。
		悩みなどを聞いてくれるサービスがあるといいです。
		問35の①の何でも相談できる方がいて下されば気持ちが楽になります。
		家族等のいない方へのサポートが必要になると思います。私も叔父の面倒をみる事になり一緒に生活していたわけではないので何も分からず、猪苗代町内の事もどのような施設等があるかも分からず、どこに相談して良いかもわかりませんでした。近くの方も関わりたくないようで協力を得られませんでした。猪苗代の家と畑は荒れ放題です。いろいろな事をサポートしてくれるところがあったら良かったです。
ヘルパー	1	ヘルパーの充実
一時預かり	1	家族が面倒を見られない時にすぐに預かってもらえる場所があるといいと思う。
福祉用具	1	車いす等福祉用具の展示会の開催
介護サービス関係	5	夫が時々仕事で外泊する時に今までは1人で留守番してきましたが年齢的にきつくなってきましたので、その間ショートステイできる場所があれば有難く思います。
		老人ホームの拡張
		在宅訪問の介護の整備
		公的機関による老人ホーム。特別養護老人ホームに入れない要介護施設の援助
		高齢者が生活しやすい様にちょっとしただけの手伝いサービス等が格安に利用できる様々な事（高い所の掃除、床のふき掃除など）あればよいと思っています。
空き屋利用	1	この町は空き家が多い。それをグループホームや生活介護等に利用してほしい。老人の施設は多いのに障がいのある人の利用できる施設が少ない。
費用助成	3	宿泊施設での割引
		自動車税の減免
		町内で一定額以上買い物すると町内の温泉施設の無料券がもらえるようなサービス
窓口対応	2	いろいろな手続きなどで役場に行った時、障がいのある方などが（手伝ってほしいことがあるときに）利用できる呼び出しブザーのようなものがあるといいと思う。今の状況では、なかなか障がいのある方は役場に行きにくいです。
		申請書類などの手続きの簡略化

健診関係	1	定期健康診断について町で医療機関を指定し無料で毎年受診出来ることが望ましいです。
災害対応	1	災害時にあわてずにすむように、避難訓練などの実施について検討してほしい。
除雪関係	2	障がい者宅の前になるべく雪を残さないように、保健福祉課が除雪担当者に事前に情報提供を行うなどしてほしい。 冬の除雪が大変です。
医療機関	1	在宅医療に携わる医師がこの町で不足していると思います。訪問看護師さんもギリギリの状態で頑張ってくれていると感じます。人材育成というか余裕を感じることが一番のサービスです。
イベント等	2	障がい者と一般の人がともに参加できる行事の開催、通院介助サービス 障がいの有無に関わらず誰でも参加しやすい趣味のサークルがあれば良いと思います。(スイーツ作りやガーデニング等)ハーバリウム作りも良いですね。
その他サービス	6	家に来てもらってマッサージしてくれる 町に温水プールがあると障がい者も住民も健康を保つ事ができると思います。 障がい者手帳を持っていることで受けられるサービスの拡大(プールなど各種施設の割引など) 予約や面倒な手続きがなく、困っているときに電話一本で相談に応じしてくれるサービス(部署等)があると便利 公共の風呂が町中にあるといいです。 町の公園の遊具をもっと増やしてほしい
その他	4	国の方針で経済優先なのは致し方ないですが一人一人が自覚を持ってコロナ対策をしなければ終息はありえないと思います。特に手本となるべき行政機関等はなおさらの事です。 夫が重度障がい者です。ケアマネージャー等の話は素直に聞いてくれるのですが、私の話は聞いてくれません。私が送迎して、デイサービスに通所していますが、冬期間は除雪のことを考えると不安になります。 聴覚障害者であることが一目でわかるステッカーやシールがあると相手に説明しなくて済む(大抵は外出先で聞こえなくて困る事が多い)。 障がい者手帳が何のために有るかわからない。取得して以来一度も利用していない。

問 37 現在、幼稚園・保育所・学校に通っている方について、宛名のあなたの保護者の方にうかがいます。通園・通学先に望むことは、どのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

通園・通学先に望むことは、「先生の理解を深め、子どもの能力や障がいの状態に適した指導をしてほしい」が 56.1%と最も多くなっています。以下「就学相談や進路相談などの相談体制を充実してほしい」が 51.2%、「個別指導を充実してほしい」が 39.0%、「施設、設備、教材を充実してほしい」が 34.1%、「まわりの子どもたちの理解を深めるような交流機会を増やしてほしい」が 26.8%となっています。



◇ 自由意見：最後に、ご意見、ご提案などがありましたら、自由にお書きください。

No.	性別	年齢	手帳の種類			自由意見
			身体	療育	精神	
1	女	0～9歳				<p>役場、行政の方へ いろんな説明をする時に言葉を選んでほしい。もし自分の身内に障害のある方がいたら…と考えて説明してほしい。心ない言葉で説明されると傷つくし、もう話したくなくなる。なぜ助けてくれないの。障がいがある方は何も悪くない。少し手助けがほしいだけ。もっと注目してほしい。町にもたくさんいます。でもかくして皆暮らしている。もっと対等に接して下さい。町に障がい者が利用できる施設（生活介護など）が少ないです。もっと増やして下さい。支援学校卒業後に通所できる施設がない方がたくさんいます。利用したくても、「定員がいっぱいです」「職員が少ないので、これ以上利用できない。」など。町全体で意識をかえないと難しいです。もっと理解して下さい。</p> <p>学校も障がい児を個別ケアできるように充実させて下さい。理解のない先生たくさんいます。ひどい言葉をかえしてくる先生もいます。</p> <p>障がいに対する理解のない人が多いから、意識が代えられないのだと思います。理解してもらえないのなら言わないでおこうって思った事もたくさんありました。</p> <p>（その当時の話ですが）タクシーだって障がい児1人では何かあっては困るから乗車できないと…（現在は知りません）。じゃあこの子たちは何を使って移動すればいいのか？親がいなきゃ移動できない。交通機関も障がい児が利用できるよう配慮してほしいです。よろしくおねがいします。</p>
2	男	0～9歳		○		<p>移動支援について、スタッフの方から「(職員が少ないので)前から利用している方が優先になります。」といきなり言われました。事前に予約を入れていても、以前からの利用者の予約が入ると、こちらがキャンセルされてしまいます。また、こども園の入園手続きの際も、障がいのある子は、14時までしか利用できません。対応できる職員がいないので…とあっさり言われました。人材不足は事業所の問題で、こちらには何の関係もありません。この声が届いて少しでも改善されることを祈ります。</p>
3	男	0～9歳				<p>2歳より児童発達支援を受けさせていただいています。今年度より無償化対象児童になったのでとても助かっています。今後もサービスを受けられる事に感謝しております。</p>
4	男	10代		○		<p>毎年毎年書いていますが、何も変わっていません。障がい者のための避難所もそう。支援学校は「県立」だからと町のスクールバスも使わせてもらえない。こども園はバス利用できるのに。</p> <p>自閉症児はどんどん増えています。事業所を利用できない人がたくさんいます。うちはなんとか利用できていますが、利用できない人、小さい時こそ受けなくてはならない療育</p>

					<p>が受けられないのはとてもかわいそうです。そんな施設を作ってほしい。町が施設を設置するのがムリなのはわかります。なので町外の事業所などに全面協力依頼をして施設を拡大して行ってほしいです。生活介護事業所、グループホームなども同じです。</p>
5	女	10代		○	<p>いつもお世話になっています。今困っていることは、コロナウイルス感染症対策で利用している事業所の利用に制限がかかっていることです。家族で「県外」に行く場合があるので通所を自粛しています。いつまで続くのですかね。猪苗代ではファミサポの利用が可能なのでしょうか？以前利用したことがありますが、利用方法は依然と同じなののでしょうか？子どもの送迎のために利用できる制度を考えてほしいです。子どもの送迎で人生終わりなんだなあーという絶望も感じてきました。</p> <p>いままで何度もインフルエンザの影響などで利用している施設の受け入れが中止となり、1カ月間仕事を早退したり、いろいろありましたがこうやって、いろいろな影響に振り回されるような支援体制っていつまで続くのか…母親の私の人生に対して情けなくなってきてしまいました。</p> <p>スクールバスも無い送迎体制も無い、朝の登校は8時半過ぎ。県立学校だからかと町は言い、支援学校は県に申請（スクールバス）していると言い…何の進展もありません。</p>
6	女	10代		○	<p>町内も障がい児・者が年々増えていると感じます。障がい児には放課後デイサービスも町内にあり、今は以前ほど不便でなく生活しやすい環境にあると思います。しかし18歳以降の就労・生活の場・移動手段においては保護者にとって大きな悩みです。障がい者が働ける場所（特に就労支援事業所）を増やしてほしいと強く感じています。支援学校の保護者（卒業生の保護者も含む）で事業所を立ち上げたいと話していますが、保護者の力だけでは困難ですので、行政の協力が必要です。ぜひとも検討してもらいたいです。</p>
7	女	10代		○	<p>支援学校に通学している児童・生徒で猪苗代町在住の児童・生徒はかなりいますが、その児童・生徒の中には卒業後、就労継続支援B型事業所への進路が難しいものが多いが、猪苗代町内には生活介護事業所がない。就労継続支援事業所も未だに1カ所のみ、将来の生活を居住地でできない状況であることは確かです。</p> <p>法律が変わり今後事業所は立上げや維持が難しくなると予想される中、保護者の方々が自分たちで何とかするしかないのかと考えています。しかし、それは難しいと思いますが町の福祉行政としてどのように考えているのか知りたいです。議会の話題にさえのぼらないことで残念です。</p>
8	男	10代		○	<p>健常児・グレーゾーン児・障がい児の区別のない町・学校であってほしいと願います。町内の学校で先生が生徒にあだ名を付けていた話を聞きました。</p> <p>先生が生徒いじめをする教育現場、とても残念です。</p>
9	男	10代		○	<p>猪苗代町は障がいのある方達が働く場所が少ないと思います。就職先の充実又は就職先までの移動手段等もっと充実してもらえれば…と考えてしまいます。</p> <p>近場にあるだけで親御さんの負担がだいぶ減り、心配する事なく預けられると思うので将来的には働く場所が増える事を願っています。</p>

10	男	10代		○	町内に障がいのある人の施設、日中活動ができる場所、事業所が少ない。仕方なく町外の施設等へ親が送迎している現状を何とかしたい。
11	男	10代		○	通学している学校の先生方、子どもたち、保護者や今までかかわってくださった支援者の方々に感謝しています。ありがとうございます。
12	女	10代	○	○	利用できるサービス等があれば教えて欲しい（文章を見ても分かりづらく、自分が何に該当するか分からない）。今後生活介護を利用したいと考えているが、受け入れ先がほとんどないと聞く。できれば猪苗代町内に施設ができるとよい。
13	男	20代		○	町のホームページのトップ画面から、障がい者向けの項目を探すのが大変なため、障がい者向けにまとめた項目を追加、もしくは改良していただけるとありがたい。
14	男	20代	○	○	家族がコロナウイルスに感染した場合、障がいのある息子はどうしてもいいのか考えると不安です。
15	女	20代		○	猪苗代町内で就労したくても事業所が少なく町外まで通所しなくてはならないのがつらい。できれば町内の就労B型事業所を町で立ち上げてほしいと思います。または、町外の事業所への送迎サービスなどがあるといいです。※行政区から事業所の最寄の駅まででも助かる、駅から事業所の送迎が可能などところが多いので…。
16	男	30代	○	○	福祉施設の職員さんは、もっと障がい者それぞれの障がい等を理解して言葉かけや対応を行い、障がい者の意思を尊重してほしいと思います。話し方ひとつで理解できることはたくさんあるのだと思います。現在あるサービス事業所の職員にも、このような福祉にかかわる人材の育成に力を入れてほしいです。 災害時の福祉避難所を各地区に設置して、明確に知らせてほしい。
17	女	40代	○		保健福祉課、地域生活支援センターの方々にはいつもお世話になりありがとうございます。お陰様で今回は思ったより早くグループホームに入所することが出来ましてホッとしました。いろいろとご配慮をいただきありがとうございました。本人はまだ慣れない生活に不満もあるようです。これから何かとご心配をかけることがあるかと思いますが、よろしくお願いいたします。皆様のお骨折りで一人でも多くの方が（親が）安心して暮らせる様にお願いいたします。
18	男	40代		○	ハンディがありますが、障がいを理解してもらって、一般企業で働きたい。
19	男	40代		○	猪苗代駅前通りがあまりにも寂しい、食事できるところやコンビニ等があればいい
20	女	40代	○		車いす生活者は日常的に介助が必要です。家族以外の方で補助していただける制度・機関が猪苗代にあるとよい。医療機関等町内には車いすで利用できない状況で大変不便を感じています。 町の健康診断でも健診車に乗り込むことが出来ず断念しています。障がい者が笑って生活できる優しいまちづくりを希望します。
21	女	40代	○		サービス利用に関するアンケートで「利用しているが今後は利用したくない」の項目を追加してほしい。障がい者の制度について支援者によって理解度に違いがあると思いました。今年に入り職業訓練校に通い新しい支援者から「障

					害年金」のことを聞きました。今までそのような話は聞いたことがありませんでした。障がいの種類に応じて情報提供を受けられる（こちらからではなく行政から）ようなことが出来ればいいなと思います。今まで何度もアンケートがありましたが、このアンケートにどんな意味があるのかと思っています。
22	女	50代	○		このコロナウイルス感染症による不景気で職場採用にも影響があるようです。私は、来年で定年を迎えます。今後数年の雇用延長を希望していますが障がい者でありパートである自分の将来がとても心配でなりません。 障がいがあっても定年後まで働けるところがあるといいのですが。
23	男	50代	○		障がい者になり3年目になります。自営の為なんとか仕事はしていますが、今後を考えると不安がたくさんあります。これからなにかとお世話になるとは思いますがいよいよお願い致します。
24	女	50代		○	自立支援受給者証と障害者手帳はいただきましたがそれでも、もう少し働ければいいと考え、あちらこちらにTELしました。 でも精神障がいがあり交通手段がない状態ではなかなか仕事ができせん。がんばって仕事しようと思いますので交通手段がほしいです。夜間の時間帯で仕事できればもう少し生活も楽になります。
25	男	50代		○	昨年、自宅が火災になってしまい障がいのある家族が施設に入所せざるを得ない状況になりましたが、できれば家族の元で最後まで穏やかに過ごさせてやりたかったという思いは今もあります（自宅で過ごすにしても、家族も年を取りいろいろな支援が必要ですが…）。 障がいがある方の通院の支援があるといいなと思います。また、家族が急病などになってもスムーズに施設に入所できるような体制ができるとよいと思います。
26	女	60代	○		聴覚障害4級で補聴器を購入しています。何度調整しても音は大きくなりますが言葉が聞き取ることが困難です。何か良い方法がないものかと悩んでいます。同じ障がいを持つ仲間が集まって意見交換や悩みを言い合える場があれば参加したいと思います。 聴覚障害があるとわかっての雇用であったのに「電話の応対もできないようじゃ継続は無理」との言葉があり終了となりました。もう少し障がい者の気持ち、立場になって言葉を出してほしいと感じたときでした。それが悩みなのだから！
27	男	60代	○		町役場の皆様には大変お世話になり感謝しています。
28	女	60代	○		福祉車両を購入するにあたり、介護者と障がい者が同居していなとき、何も補助制度がなく大変だった。条件が厳しいと思いました。
29	女	60代	○		除雪で困っていることがないか等、生活状況の調査を行ってほしい。
30	女	60代		○	私は年齢的にも身体の機能も段々落ちてきましたので一人での外出は困難です。現在精神障害者福祉手帳を所持しておりますが、週1回位デイサービスに通わせて頂ければ大変有難くうれしく存じます。
31	女	60代	○		人工透析は医療費の面で大変負担になっていることを以前講演で聞きました。生活習慣病対策で透析患者をできる限

					<p>り減らしていくことができればよいと思います。</p> <p>私は主治医から説明されても納得できず、6～7年も透析を回避してきましたが、透析を受けるようになって4年以上が過ぎています。それでも医療費の自己負担が1割で済んでいるので大変ありがたいと思っています。</p> <p>しかし透析を受けた後の体調は年齢を重ねるたびにつらさを感じます。週3回で1回あたり数時間の透析、通院に1時間。時間の制約もあり子供の世話にはなにくく不安が強くなるばかりです。猪苗代町の透析患者がこれ以上増加しないことを願うばかりです。医療費助成は本当に助かりました。</p>
32	男	60代	○		<p>医療費が高額なので、全額補助してほしい、国に打診して、そのような制度を構築してほしい。</p>
33	女	60代	○		<p>高齢者が多くなってきており、公共施設・空き地などの草刈りが大変です。職員を増やし夏は草刈り、冬は除雪など交代で回せるようにしてはいかがですか。</p>
34	男	60代	○		<p>障害年金申請したが該当にならなかった、体が不自由でも50年間頑張ってきたのに…</p>
35	女	60代	○		<p>町外に出かける時があるので、タクシー券やバスの回数券など交通費の補助があると助かります。</p>
36	女	60代	○		<p>家族が居宅介護支援を受けていますが、体調が悪い時に（施設に）迎えに来てくださいと連絡がありますが、直接医療機関に連れて行ってもらえるようにしていただきたいと思っています。</p>
37	男	60代	○		<p>仕事がしたいので紹介してほしい。</p>
38	女	60代	○		<p>まだ私自身はサービスの利用はありませんが、今後必要となった場合にはお世話になるかと思っています。今でも福祉関係は充実していると思います。</p>
39	女	70代以上	○		<p>去年の冬よりヒザ下が思った以上に悪くなり今年はつらい思いで過ごしています。冬になれば外で働けない生活が始まるので来春のことを考えるとこわいです。毎日の様におり紙やあみ物などなるべく手先を使っています。</p>
40	男	70代以上	○		<p>アンケート内容がわかりにくい</p>
41	女	70代以上	○		<p>除雪車が通った後に、家の前に雪のかたまりを置いて行かれるので何とかしてもらいたいです。</p>
42	女	70代以上	○		<p>施設でお世話になっていますので質問に答えられないところが多いですが、ご判断ください。入所後どんどん発語が減り今では家族のこともわかっているのか？という感じです。せっきくのアンケートお役に立てず申し訳ありません。</p>
43	男	70代以上	○		<p>車の免許がなくなってから病院に行くのに人を頼んで、行ってもらっている状態（月1・2回）です。</p> <p>子供にたのむにも仕事だったりするとなかなか頼めない。町外への通院のためにもバスを出してほしい。</p>
44	女	70代以上	○		<p>高齢者の自立支援サービス「お元気クラブ」が生活の充実につながっています。介護認定にならないよう、散歩しながら筋力の維持に努めています。</p>
45	女	70代以上	○		<p>ひと昔前と比べて現在は障がい者にとって大変やさしい社会になってきており心強くありがたく感謝しております</p> <p>（例1、このようなアンケートによって支援を模索してゆく取り組み 2、一般の人々の目心配り 3、施設のバリアフリー化 4、施設利用時の対応 5、日常生活支援の充実）。</p>

					障がい者自身もそれに甘える事なく社会の一員である事の自覚を持って可能な限り自立できるように努力していく必要があると思っています。そのためにも、障がい者の行動力向上のための機能回復訓練ができる施設があればその可能性が広がると思っています。障がい者にやさしい町づくり等にご努力されて下さる皆様方に心より敬意と感謝を申し上げます。
46	女	70代以上	○		いたれりつくせりで恐縮する程満点。
47	女	70代以上	○		このアンケートの情報及び統計を役立たせてほしいと願っております。
48	男	70代以上	○		年齢を重ねるごとにスポーツをしなくなった。以前はスポーツを楽しんでいましたが、今後は文学などを楽しめたらと考えています。
49	男	70代以上	○		90才過ぎると健康の事ばかり考えて、毎日1日どう元気であるか考えています。
50	女	70代以上	○		今の所不自由な事がないです。ただ数年前に転んでから腰が曲がって寝起きが少し不便ですが仕事には支障ありません。毎日外で畑仕事をしています。長く歩くことが出来ませんが自分なりに休みながら過ごしています。体が動かなくなったらよろしくお願いします。
51	男	70代以上	○		特別養護老人ホームに入所してから早くも1年に成りました。今現在入所した時より体調は悪くなっております。春先に病院を退院してから車いす生活を送っています。杖をついても歩けなくなっています。それと聴覚障害で徐々に聴こえも悪くなっている事実は曲げる事は出来ません。以前はアパートで一人暮らしをして居ましたが今は仮に退所しても帰る所がありません。長い入所生活をこれから続けることになる訳ですが金銭的に不安を感じています。これから先福祉的にどのように対応して頂けるのか一度お話を伺いたいと思っております。今回のアンケートは施設に入ってから初めてだったのでどう書いて良い物が正直迷いました。これからも車いすで生活を送って参ります。今は金銭的な事だけが心配です。私がお願いしたい事はずっとこのまま施設で生活ができますよう取り計らって頂きたいと思います。
52	男	70代以上	○		信号機の待機場所に点字ブロックを付けてほしい。また、側溝に蓋を付けてほしい
53	女	70代以上	○		アンケート調査の結果を回答者に直接または広報誌などで公表してもよいのではないのでしょうか？また、調査結果がどのように行政サービスの改善等につながったのか、わかりやすく公表したら更によいと思われます。
54	男	70代以上	○		今は車の運転もできますが、数年後にはできなくなると思う。今後はタクシーを利用したいが、町で割引券等の発行を希望します。
55	女	70代以上	○		老人二人の生活にはとても不安が大きいです。定期的に声掛け・見守り情報提供など支援していただけるとありがたいです。買い物や通院の時にすぐに対応していただける窓口やすぐに利用できる福祉タクシー（低料金で利用できるようなタクシー）があると助かります。老人の楽しむ場所を作ってほしいです。
56	男	70代以上	○		大変お世話になっておりまして感謝の心でいっぱいです。ひとつだけ、病院に入院する時は救急車で向かい、退院す

					る際に介護タクシーで帰ってきたので高齢者等外出支援サービスの利用申請をしたところ、退院時は該当しないとのことでした。理由がわかりませんでした。
57	女	70代以上	○		デイサービスを利用させていただいています。本人の活動や家族の会話ができる時間として、とてもありがたく感謝しています。今のコロナウイルス感染症の件では施設の方々に色々とお大変な御苦勞をかけていると感じます。日々気の抜けない対応に頭が下がります。医療関係者はもちろん、それ以外の施設職員にも何かしらの恩恵があればと思います。
58	女	70代以上	○		最後まで生きる事を楽しみたいと思っています。残り少ない時間でも精一杯学びたいです。知らないことがたくさんあります。いつもありがとう。
59	女	70代以上	○		具体的な障害者支援及びサービスがわからない。
60	男	70代以上	○		聴力障害で現在補聴器を使用しています。10年ほど前に助成を受けて作成した補聴器を使用していましたが、障がいが進んで、自費購入した補聴器を使用しています。今のところ特に困ってはいないので私などよりもっと「不自由な方」がたくさんいると思うので、そういった方の支援をしていただきたいと思います。
61	女	70代以上	○		一人暮らしをしています。介護保険の利用もありません。定期的に福祉関係の方など訪問して欲しいです。
62	女	70代以上	○		毎回アンケートに答えています。町全体でどのような要望が多くありそれに対して行政はどのように対応しますかという回答がなかったら、毎回このアンケートに解答しても前に進まないと思います。
63	女	70代以上	○		困っている時相談したくとも出かけることができません。家族が運転出来た時は良かったのですが、今は車の運転ができなくなりました。車以外はほとんど前と同じような生活が出来るようになったのでよかったと思っています。昨年秋に同居の家族が亡くなりました。ほとんど生活の足となっていた家族がいなくなり通院も買い物も全く出来なくなりました。家の中ではつかまって歩けるので何とかいいのですが、ほとんど外出できません。時にはうさばらしにと思って何もできません。相談できる人、愚痴をこぼせる人、何でも話せる人がいたらいいのになあなんて一人で思うことがあります。自分のできることを見つけ無理をしないで頑張ろうと言いつけて聞かしている毎日です。何かいいアドバイスがあれば教えて下さい。
64	女	70代以上	○		毎日お疲れ様です。今後ともよろしくお願いします。
65	女	70代以上	○		猪苗代町ではFM放送が聞けません。例えばリハビリの会場に美しくきれいな音楽が流れていれば心地よく訓練が受けられると思います。
66	男	70代以上	○		私は猪苗代町身体障がい者福祉会に入会しており、事務局の方には大変お世話になっております。事務局の方は、いろいろな行事の企画運営でご苦勞なさっていると思います。町の支援もよろしくお願いします。
67	男	70代以上	○		何とかひとりで自立している人が安心して生活できる環境と周囲の理解が必要。車いすの障がい者が一人で利用すると不便な駐車場、トイレがまだまだ多い（例えば、役場玄関前の傾斜やぼこぼこした路面、カメラのスロープ上のタイル剥がれなど）

68	女	70代以上	○		アンケートに回答した皆さんがどのような意見を持ち、どういった回答となったのかを知らせてほしい
69	女	70代以上	○		現在はこのアンケートに自分で回答していますが、今後はどうなるか？少し心配で今後のことを考えてしまいます。あまり考えずにまずは自分の身の回りのことはなるべく自分でする様にここがけています。友達4人でお茶のみグループで色々話をして、笑って一日を送っています。
70	女	70代以上	○		私は腰と足が痛いので大きな病院で診てもらいたいがお金がかかるので我慢しています。サロンに行って運動するのが楽しみです。
71	女	70代以上	○		現在不便はありませんが、この先の事はわかりません。
72	男	70代以上	○		障がい者からは税金を取らないで下さい。
73	女	70代以上	○		いまのところ何も不自由はありません。これから体にも気をつけて暮らします。
74	女	70代以上	○		今は車の運転も出来て町外の病院まで一人で行けます。今後自分の体がどう変わるのか心配です。
75	女	70代以上	○		障害者手帳をもらって7年間一度も利用した事がないが、どういう時に利用できるのですか？利用できるサービス等を教えてください。
76	女	70代以上	○		アンケート用紙最初のページ下の番号は誰が記入したか分かるための番号なのでしょうか？気になりました。
77	女	70代以上	○		いつもお世話になっております。親切にいただき感謝しています。今後ともよろしくお願い申し上げます。
78	女	70代以上	○		町外の施設（介護保険）にありますが、できれば町内の施設（介護保険）に移動を希望しており、すでに1年半が経過しました。長年順番待ちをしなくてももっと早くスムーズに入所できるように町としても一段と力を入れてほしいと思います。
79	女	70代以上	○		私は90歳を超えています、元気で畑仕事や家事を自分でやっています。
80	女	70代以上	○		介護保険のサービスと重なる内容があり、アンケートの内容が少々わかりづらかった。
81	女	70代以上		○	介護施設に入所することが出来ホームで過ごしています。ただ、これから先本人の年金だけで生活していくことが出来るのか心配です。
82	女	70代以上	○		本人は身体的には聴覚障害と認知症です。家にいる時は毎年というか日増しにボケがひどくなっていくように思えるのですが認定調査になると、とたんに正常のようになるので認定する方に「普通はもっと違います。」とはいえないので「去年と同じ進んでいません。」と言われるのが納得できません。
83	男	70代以上	○		まだ健康な状態ではあるが、介護支援の状態になった時、子供や家族の負担にならない様に介護施設に入所したいが経費負担が懸念されるのでその点が心配です。
84	女	70代以上	○		質問内容が難しくて本人に説明するのが大変でした。使用している言葉が抽象的であるため分かりにくかったです。「こうであればいい」という質問内容では解答するのに苦労しました。
85	女	70代以上	○		色々福祉も細かい所まで度々アンケートやらお世話になります。これからも益々発展されます様よろしくお願い申し上げます。個人的な意見も多々有りますが今後ともお世話になります。

86	女	70代以上	○		息子の自動車に乗せてもらっているので自動車税の課税を免除してもらいたい。
87	女	70代以上	○		<p>猪苗代の悪い点</p> <p>①働く場所がなく長男や孫が外に行ってしまうこと。今1人暮らしや2人暮らしの家が多く、何年かで空き家になる。人口が減るばかり、農家に嫁がなくコロナで働く場所もなく悪いことする人が増えている。企業誘致の話もなく、猪苗代は安心でなくお先真っ暗です。何年もかけて建てた家がなくなるということです。</p> <p>②観光地でありながら、その資源がいかされてないこと。</p>
88	男	70代以上	○		ある日の会合で「町から保健福祉課の職員が来る」と言うので参加しました。その中で一番先に話したのが「猪苗代の保険料が近辺の市町村で一番高いのはなぜかわかりますか」との質問でした。その方の回答は「透析患者が一番多いからです。」というものでした。その場に透析患者やその家族が出席していたらどう思うのでしょうか。よく考えて話をしてほしいと思いました。

第3期猪苗代町障がい者計画・第2期障がい福祉計画（後期）
・第1期障がい児福祉計画（後期） 策定経過

時 期	内 容
令和2年9月	第1回猪苗代町障がい者自立支援協議会開催
令和2年9月	猪苗代町障がい者アンケート調査の実施
令和3年1月	保健福祉計画策定第1回連絡会議開催
令和3年2月	第2回猪苗代町障がい者自立支援協議会開催
令和3年2月	障がい者計画・障がい福祉計画・障がい児福祉計画の決定 議会全員協議会に説明

猪苗代町障がい者計画・猪苗代町障がい福祉計画・猪苗代町障がい児福祉計画の策定に携わった皆さん

猪苗代町障がい者自立支援協議会委員名簿

団 体 名 ・ 機 関 名	氏 名	備 考
猪苗代町医師団	矢 吹 孝 志	会長
福島県ばんだい荘	青 柳 百合子	副会長
地域生活支援センターいなわしろ	佐 竹 麻 衣	
猪苗代町地域包括支援センター	内 山 尚 子	
猪苗代町民生児童委員協議会	佐 藤 美 晴	
猪苗代町商工会	渡 部 常 男	
福島県立猪苗代支援学校	本 田 知 史	
猪苗代町小中学校長会	永 島 慶 和	
猪苗代町社会福祉協議会	鈴 木 義 二	
さぎそうの家	大 栗 真 弓	
社会福祉法人猪苗代福祉会いなわしろホーム	菊 川 一 雄	
BOSCOHOME	生 尾 順 子	
猪苗代町身体障がい者福祉会	小檜山 行 則	
心身障がい児(者)手をつなぐ親の会	遠 藤 光 昭	
猪苗代地区区長会	笹 岡 正 人	

令和 2 年度

猪苗代町障がい者計画・猪苗代町障がい福祉計画・

猪苗代町障がい児福祉計画

令和 3 年 2 月

発行 猪苗代町 保健福祉課

〒969-3123 福島県耶麻郡猪苗代町字城南 100

電話 (0242) 62 - 2115